

STEP!

3月 March

宇美町立宇美南中学校
第2学年通信 第44号
文責 大田・秋山
令和4年 3月16日(水) 発行

3年生の姿に、来年の自分たちのイメージを重ね、感じ取った卒業式!!

3月11日(金)、卒業式に参加した生徒会役員のみなさんや学級委員のみなさんは在校生代表として、立派にその責務を果たし、3年生の先輩方を見送ることができました。また、生徒会長の伊藤寛菜さんが在校生代表で「送辞」を読み上げました。自分の思いを話す姿は堂々として落ち着きがあり、先輩方にしっかり伝えることができていました。式の後の片付けも、18名と先生方であっという間に終わることができ、3年生に向けての意識の高さを感じました。前日のリハーサル終了後も、一人残ってくり返し練習をしていました。みなさんにもぜひ、見てもらいたい姿でした。それでは、伊藤さんの送辞の全文を紹介します。



送辞

肌を刺すような冷たい空気がいつの間にか和らぎ、吹く風にも春の訪れを感じるようになりました。3年生の先輩方、ご卒業おめでとうございませう。在校生を代表し心よりお祝い申し上げます。

先輩方はいつも私たちを引っ張ってってくださいました。6月に行われた体育会ではチームリーダーとなり、経験のなかった私たちを導いてくださいました。無観客での開催で、例年通りの体育会を行うことはできませんでしたが、先輩方の 明るい声と積極的に競技を楽しもうとする姿は、体育会を成功に導くために欠かせないものだったと思います。1年生も2年生も分からないことや不安なことが多い中、体育会を成功させられたのは間違いなく先輩方のおかげです。本当にありがとうございました。

秋に行われた学習成果発表会では、クラスやチームで協力して物事に取り組む素晴らしさを教えていただきました。先輩方は一生懸命に練習に取り組み、1、2年生にはない女声の高音と男性の低音が重なり合い、美しく響く歌声を聞かせていただきました。

部活動では私たちをやる気にさせていただけるような声かけ、的確な指示を出して、「先輩のようになりたい」と心から思いました。また、目標を高く掲げ、その目標達成に向けて時間を無駄にすることなく、前向きに練習している姿を見せてくださったからこそ、きちんとやらなければいけないと思うことができました。先輩方とたくさん練習し、笑い合い全員で一つになって活動していたあの時間は、今思うととても輝いていたと思います。先輩方が卒部されてから、先輩方の偉大さを改めて実感しました。私たちはまだまだ先輩方のようになれていません。後輩に尊敬される先輩になるために、先輩方の姿をずっと追いつけていきます。そして、いつの日か先輩方と肩を並べられるようにがんばっていきたくと思います。

明日から先輩方がこの校舎からいなくなってしまうというのは想像できません。しかし、先輩方の素晴らしい姿を心に留め、先輩方を追い越せるように、2年生一同頑張っていきたいと思ひます。

先輩方が創り上げてくださった南中の伝統を受け継ぐとともに、私たちなりの南中を築き上げていき、この南中を今よりもっともっと素晴らしい学校にしていくことをここに約束します。

結びに、卒業生の皆様のご健康とこれからのますますのご活躍を在校生一同、心よりお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

卒業式があっている間、先輩方は微動だにせず、立ったり座ったり
の所作もピタッと息を合わせてそろえていました。3年生の先輩方は先
輩らしい姿で卒業式をやり遂げ、立派に宇美南中学校を巣立ってい
ました。これからはみなさんが卒業生の先輩方に代わって、南中を引
張っていく最高学年であり、リーダー学年になりました。それにふさわ
しい行動でお手本(モデル)を示すことができ、後輩たちから尊敬と憧
れ、そして信頼をもってもらえるような学年に成長していきましょう!!



修学旅行(修学研修②)

～スローガン「共律協援」の達成を目指して さあ、出発!!

3月15日(火)、「大刀洗平和記念館」と「門司港レトロ」を目的地にして、修学旅行(修学研修②)
が実施されました。今回の修学旅行ではスローガン「共律協援」が前回の山口修学旅行では達成
度が70%だったので、それを「100%にしよう!」ということで、実行委員長の伊藤さんが以前から呼
びかけをしていました。

出発式の中で、校長先生が2年生に修学研修②を通して、以下のようなお話をされました。

- ・12月の修学旅行では「共律協援」のスローガンのもと、みんなで協力し自律
しようがんばって成長した姿がたくさん見られました。
- ・2年生の時間に対する意識がとても素晴らしいです。朝の8時20分までに教
室に入り、荷物の整理をして8時23分までには着席しようという意識で12月
の修学旅行の取組以来がんばっています。そのことで、学校全体の雰囲気も
変化してきています。自分たちの学年だけでなく他学年にもいい影響を与えています。
- ・今回の修学旅行では70%+30%=100%という考え方で、残りの30%をうめるのではなく、13
0%の達成率をめざしてがんばってほしいと思います。つまり、「全力を出し切って『共律協援』のス
ローガンを意識し達成させること、+αでさらに自分たちで考え行動できたか」ということになりま
す。たくさんの成果を持ち帰ってきてほしいと思います。
- ・生徒会役員のみなさんは就任以来、リーダーとしての実績やものの考え方、行動の仕方をしっかり
積み上げることができています。それに学年としてみんなでリーダーを支えようという雰囲気もでき
つつあります。
- ・大刀洗平和記念館では、今、ロシアとウクライナの問題が世界中で心配されているように、「戦争と
平和」のことについて、しっかり考え、感じ取ってきてください。
- ・ふり返りや先生方の報告を聞いて、また、修学旅行が終わって以降のみなさんの姿を見て、みな
さんの成長を楽しみに確認していきたいと思います。



実行委員長の伊藤さんからは次のような話がありました。

- ・反省で得た課題、その課題を改善してきたことを生かして、学年全体で
成長していきましょう。
- ・校長先生が言われたように、スローガン達成率を130%にできるように、
一人一人が全力で「共律協援」し、成長していきましょう。

それでは、どんな修学旅行になったのか。次号をお楽しみに・・・